

京都府立綾部高等学校



分析化学部

由良川クリーン大作戦

由良川クリーン大作戦とは、地域の方々と共に由良川を美しくする活動です。今回は**第10回目**という節目であり、昨年までの「由良川クリーン作戦」から「由良川クリーン大作戦」と名前を一新し、もっと多くの方に参加して欲しい！という気持ちを込め、今年の5月15日に開催しました。コロナ禍が未だ衰えず、参加していただけるか心配でしたが、今年は**約330名**と過去最高人数にて実施することができました。また、ごみの回収量は**約126kg**と、皆さん懸命に活動してくださいました。

由良川クリーン大作戦の準備期間では、どうすれば参加者の方々に喜んでもらえるか考えたり、依頼文の郵送や電話での依頼やポスターを貼ってもらえるように直接お店まで依頼に伺ったりと準備することが多く大変でしたが、同時にやりがいも強く感じました。また、由良川クリーン大作戦が終わった後は、頑張ったよかったですと心から感じ、企画力、コミュニケーション能力、そして行動力が身に付き、人間的にも一回り大きくなったと感じています。毎年参加して下さる方からの期待も年々大きくなり、その期待に応えられるよう、これからも由良川の環境保全に努めていきます。



由良川

由良川は北近畿最大の一級河川であり、サケが遡上する最南端の河川として名が知られています。校舎から眺める景色は壮大で、農業学習やクラブ活動の場として、私たちの学習に深い関わりがあります。



活動紹介

校舎沿いに流れる由良川は、美しい水質を保ち、多様な生物が暮らす生態系豊かな河川です。しかし、近年様々な問題に晒されています。中でも一番大きな問題は不法投棄によるゴミ問題でした。近年マイクロプラスチック問題が世界的に深刻化しており、河川ゴミが海洋ゴミ化していることから、身近な河川の保全は必要不可欠であると考えています。この問題解決に少しでも貢献すべく「由良川クリーン大作戦」の実施を計画しました。分析化学部員だけでなく、地域の方々や企業、他校の協力を仰ぎ今年も**【産・学・官・民】**の連携の絆を深められました。

このような日々の活動を認めていただき、令和4年度河川功労者表彰を受賞することもできました。また、活動をする中で「ご苦労さん」と地域の方々からの温かいお言葉いただき、由良川保全に興味を持って下さる方が増え、活動の励みとなっています。現在コロナウイルスやウクライナへの侵略戦争等、世界中で様々な問題が起きている中、できることを全力で行い環境保全やボランティアに取り組む皆さんと共にこの窮地を乗り越えて行きたいと考えています。



清掃活動

私たちは月一回、部員全員で清掃活動に取り組み組んでいます。また、ゴミの調査及びゴミマップを作成し、何処にどのようなゴミが多いのか調査・記録しています。河川から流れ出るゴミの削減により、少しでも海のマイクロプラスチックが減ってくればと考えています。



化学的調査

水質調査を実施し、近年過剰に使用されている農薬や肥料が河川や生物に与える影響について調査しています。また、肥料の一種である一発肥料(プラスチックコーティングされた肥料)の使用が増加しており、使用後のコーティング材が河川に流れ出て問題となっています。私たちは農業科の生徒として、この問題を解決しようと、コーティングされているプラスチックの代わる自然に優しいコーティング資源を模索しています。



鮭の放流事業

由良川は鮭が遡上する最南端の河川です。私たちはボランティア活動の一貫で、綾部サケ放流実行委員会が主催で行っている事業に参加し、サケの飼育と放流を行い、資源の確保に貢献しています。



環境出前授業

綾部市内の幼稚園、小中学校の生徒に先生として由良川や生き物、ゴミ問題についての授業を行っています。また、由良川レンジャーによるレンジャーショーやクイズでは、子ども達にわかりやすく楽しい授業となるよう様々な工夫しています。



生物的調査

由良川には様々な種類の生き物が生息しています。河川で捕獲できる水生生物は「美しい水質」で生息するものばかりで、彼らが由良川は「きれいである」と証明してくれています。BMWPスコア法では、去年の結果は7.11となりました。しかし、近年鮎の漁獲量が激減していたり、外来生物が増加しているなど課題が浮かび上がっています。現在、原因解明に向け、調査を続けています。



他校との連携

河川と海洋の繋がりから海洋高校や福知山高校などと「高校生由良川流域ネットワーク」を立ち上げており、マイクロプラスチックの共同調査や意見交換を行い情報を共有しています。



啓発活動

綾部市の観光案内所には由良川の生き物について興味をもってもらうため、水槽展示を行っています。また、学校祭や京都環境フェスティバルで由良川水族館と名付け、由良川を再現した水槽(生物)展示を行い、憩いの場となっています。

プロフィール

平成23年度より分析化学部の活動として、化学的水質調査、水生生物調査、清掃活動、出前授業などの啓発活動など、**由良川の保全活動に多面的に取り組んでいます**。活動を通して、SDGs、持続可能な開発目標の「6 安全な水とトイレを世界中に」「11 住み続けられるまちづくりを」「14 海の豊かさを守ろう」「15陸の豊かさを守ろう」を達成しよう取り組んでいます。私たちは自らを「由良川レンジャー」と名乗り、由良川を守るため積極的に活動し、地域と由良川を守り今後も活動を継続していきます。

